ゆかり

第58号
川村学園同窓会

ごあいさつ

会長　井口　惠子（森島）51期

薫風さわやかな季節を迎え、皆様方におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃より川村学園同窓会にご支援、ご協力頂きまして誠にありがとうございます。

同窓会会長をお引き受けして早一年が経ちました。元会長の方々にご指導を受け、常任役員の皆様にご協力をいただきながら、日々活動に励んでまいりました。

コロナ禍により活動が制限されておりましたが、三年ぶりに縮小という形で、「同窓会総会および同窓生の集い」の開催、鶴友祭への参加が実現できたのは幸いでした。

同窓会総会後の同窓生の集いは、椿山荘にて万全のコロナ対策のもと、50期の山田邦子様にご講演いただき、楽しいトークショーとなりました。食事はせず、ティータイムとし、アフタヌーンティーセットのお持ち帰りという形での開催となりましたが、久しぶりの再会に喜ぶ参加者を拝見し、本当に開催して良かったと実感いたしました。

鶴友祭ではキャンディーレイの販売や大学生の手作りアクセサリー、カレー、お漬物の販売のお手伝いを小規模で再開しました。また、恒例の高校生主体の制服リサイクルバザーはリモート販売で実施され、同窓会もサポートしました。久しぶりに笑顔が戻ったことに感動しました。

今年度の活動は以前の形にただ戻るのではなく、今の時代にあった方法を積極的に取り入れ、「同窓会総会および同窓生の集い」は、食事が出来る形で行いたいと考えております。

同窓会での活動は母校への貢献、会員相互のコミュニケーションを大切に継承したいと考えております。そのうえで、これからの同窓会を担う若い世代の方が活動しやすい環境を整えるために体制を検討して参ります。

同じ志のもと、同じ環境で教育を受け育った同窓生の交流は、他では得がたい安心感と心地よさがあります。今後の同窓会の活動をどうぞ温かく見守っていただけますと幸いです。

最後になりましたが、川村学園創立百周年に向けて同窓生の皆様方にはこれまで以上のご支援、ご協力を賜ります様、心よりお願い申し上げます。

総会・同窓生の集い

2022年9月4日「同窓会総会・アフタヌーンティの集い」を開催しました。

ホテル椿山荘東京「ボールルーム」にて、三年ぶりに総会を開催しました。コロナが落ち着かない状況での集いということで、感染対策に十二分に気をくばりつつ、懐かしい旧友との再会に笑顔溢れる会となりました。

前半は同窓会の活動報告、三年分の古稀、傘寿のお祝いをさせて頂きました。ここにあらためてお祝い申し上げます。

後半は、皆様、お待ちかねの山田邦子さん（高校50期）のトークショーでした。ご自身のがん闘病の体験談を中心に多くの笑いを交えて色々な話を語って頂きました。最後は、檀上から降り、各テーブルを廻り、卒業生の皆様と触れ合いながらご自身のヒット曲を歌ってくださり、会場は一気に盛り上がりました。

久しぶりに対面にて、卒業生の皆様と楽しいひと時を過ごせましたことを役員一同、とてもうれしく思っています。ご参加いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

山下　彰子（田中）高校40期

コロナ禍久々の同窓会。私は小中高と川村で過ごしました。大学は音大に行きましたが、時が経っても変わらない友情を総会に参加して満喫いたしました。

懐かしい感謝の歌、学園歌は忘れておらず、歌詞が浮かんでくることに感激しました。小学生の時に教えられたお客様を迎える時はまず、お手洗を掃除する等、女性としての振る舞いを学生生活で自然に身につけ、大人になりました。結婚し、家庭を持ってからも役に立つことが沢山あり、今回、総会に参加して改めてそのことをつくづく感じました。

古希のお祝いをしていただき、記念にブローチをいただきました。とても嬉しいです。これからも川村学園の益々の繁栄を心よりお祈り申し上げます。

2023年「総会・同窓生の集い」ご案内

2023 年の総会はコロナ以前と同様の形に戻して行います。多くの皆様のご出席を心よりお待ちしております。

2023年『総会・同窓生の集い』を下記の通り開催いたします。

日 時　2023年７月２日（日）　11：30 ～14：30
会 場　ホテル椿山荘東京　ホテル棟1F「ボールルーム」
会 費　10,000円
フランス料理の予定です。

傘寿記念品

古稀記念品

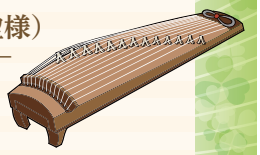
古希・傘寿の皆様

傘寿　高校33期　短大家政科11期、保育科10期
古稀　高校43期　短大家政科21期、保育科20期、英文科10期

総会では古希、傘寿のお祝いをしております。上記に該当する期の方がご出席くださった場合は、記念品を贈呈いたします。（写真参照）。

今回のイベント

『お箏の調べ』 －山本由美子先生とご友人（佐藤雅千盈様・浅沼雅詩盈様）によるアンサンブル演奏－



創立 100 周年という記念の年です。特別ゲストの先生方をお招きします。
また、総会後には懇親会を開催します。ぜひともご参加ください。

ご出席予定の先生

文学部英語英文学科
田中淑子先生
斎藤幸子先生
佐藤浩子先生

史 学 科
山本由美子先生

心理学科
末松　弘行先生

教育学部社会教育学科
人間文化学部　生活環境学科
梅澤　喜一郎先生

※なお、総会後に懇親会を行います。
（ボールルームのホワイエにて一時間程度）
ご参加希望の方はこちらからお申し込みください。

古稀を迎えて

～心温まる一日～

樓　麗子（王）　40期

三年振りの同窓会が椿山荘で催され、古稀、そして傘寿のお祝いをして頂きました。懐かしい目白の道を歩き、会場にも大勢の同窓生がいらっしゃっておりました。

川村学園には幼稚園３年間、小学校２年間、高校と学ばせて頂きました。幼稚園の遠足の際には、一同、本部で川村文子先生にごあいさつ申し上げたことをよく覚えております。

傘寿の諸先輩方もお元気で、大変お喜びのご様子でした。久しぶりの学園歌も、マスク下で口ずさむことができました。

今年の猛暑、そしてコロナにも関わらずこの様な素晴らしい会を設けて頂きまして、厚く御礼を申し上げます。

鶴雅祭（我孫子）・鶴友祭（目白）

２０２２年10月15、16日に我孫子キャンパスにて「鶴雅祭」がコロナ禍の中、様々な工夫をして行われました。その後、11月12・13日には目白校舎にて開催された「鶴友祭」には同窓会も参加しました。

役員一同で心をこめて製作したキャンディ・レイ、生活文化学科の学生が開発した「白樺派のカレー」、「川女のおつけもの」、大学の学生さんの手作りアクセサリーは大好評であっという間に完売でした。

三年ぶりに対面で卒業生の皆様や現役の学生さんと直に触れ合う機会が持てたことをとてもうれしく思いました。

◆令和３年度　同窓会収支決算書

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	7,059,414	ゆか里製作費	3,698,840
令和３年度新会員	295,000	期生役員会費	548,874
大学終身年会費	7,045,000	寄付金	1,283,000
年会費	41,225	大学学会費	432,000
利子	29	支部後援会費	200,000
雑収入	0	傘寿･古希記念品費	223,300
		交通費	118,704
		通信費	92,712
		事務費	21,844
		慶弔費	16,500
		消耗品費	1,032
		パソコン維持費	196,100
		備品費	0
		研修会費	0
		雑費	13,600
合　計	14,440,668	合　計	6,846,506
差引　残高	7,594,162	次期繰越金	

同窓会費納入についてのお願い

平素は同窓会活動にご支援ご協力をいただきありがとうございます。

同窓会は皆様の年会費により維持運営されております。納入方法につきましては下記参照の上、同封の振り込み用紙にてお振り込み下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

記

終 身 会 費　30,000 円（一括払いのみ）
一 ヵ 年 会 費　2,000 円

- 期生・クラス・住所・氏名・電話番号は、必ず明記下さい。
- 住所･姓名変更の方は振り込み用紙にその旨を必ず記入して下さい。
- 尚、ご不明な点がございましたら同窓会室迄お問い合わせ下さい。

毎週　火・土　　午後　１時～４時
TEL・FAX 03－5956－2271

100周年を迎えるにあたり

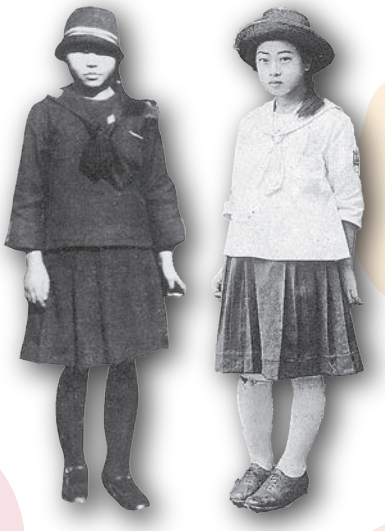
大正12年（1923年）に関東大震災後が発生。荒廃した社会の状況を「非常」の時ととらえ、その解決には女子教育の振興以外にはないと考え、大正13年（1924年）、「川村女学院」が創立されました。令和５年（2023年）の本年、学園は100周年を迎えます。

その❷ 制服編

今回は制服の変遷を辿って思い出をたのしんでください。

川村女学院は創立から間もなく「セーラー服」の制服を取り入れている。セーラー服の襟とカフスに3本の白線の入った特徴ある制服である。川村女学院十年史によると、震災直後の慌ただしさから制服導入は思いもよらなかったが、運動や敏活などを考慮すると制服の必要性を痛感しセーラー服を採用することになった。

高等専攻科・家庭科では、昭和９年（1934年）度より紫無に統一された和装の制服もあった。



東京市内各地の女学校の制服を調べ、専門店にも相談し、川村女学院の川という三本筋を装飾された原案が造り出され、大正13年（1924年）５月に制定された。
夏服は左袖に三羽の鶴のワッペンが付き、襟が取り外せるようになっていた。
帽子は決まったものは無く、川村女学院十年史には「創立翌年の大正14年（1925年）秋、震災後の諸事倹約の時代のため、裁縫の時間に生徒たちに作り方を教え、各自で作ってもらうことにした」とあるので、各自で作っていたことが分かる。

昭和27年（1952年）３月５日に設置認可された短期大学は、食物栄養専攻コースと被服専攻コースがあり、翌年昭和28年（1953年）２月に標準服が制定され、昭和37年（1962年）度頃から46年（1971年）度４月頃までは、KJCのイニシャルが入ったワッペンを左袖に付けた標準服は入学式や卒業式などの時に着用した。

セーラー服は最初に採用されたデザイン以降は、スカートのひだの数やネクタイ・カフスの形、全体のシルエットなどの変化を重ね、昭和42年（1967年）ごろに現在の形に落ち着いた。また、最近では、夏期の気温上昇により、制服の手入や着心地を考えた「ワンピース」が制定された。このワンピースは、涼しい素材で動き易く、洗濯が簡便で清潔に保つことができるようになっていて、前面の開きの深さやウエストの位置など数回改良されている。この簡易服は普段、制服と並行に着用することが認められている。

創立当時、運動と敏活を考慮し制服の必要性を痛感し「セーラー服」を導入したが、今の時代も同様に、着る側の快適さを考え、機能性と着心地を取り入れたデザインと素材に進化している。

ご寄付のお願い

川村学園はまもなく100周年を迎えます。学園は歴史と伝統を図りながら、さらなる教育効果を願い、趣意書のような記念事業が計画されています。つきましては、同窓会はこの趣旨に賛同し、昨年同様、今年度のゆか里にご寄付申込書を同封いたします。一口、一万円程度をご寄付いただければと存じます。ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。尚、すでに、昨年ご寄付いただいた方にも同様の案内がお手元に届いておりますことをご了承ください。

卒業生・在校生の活躍

宇宙飛行士選抜に合格して

宮地　舞　中学60期

１９９４年に川村幼稚園に入学し、２００６年川村中学校を卒業しました。学生時代には中野先生、若林先生をはじめ多くの先生方に大変お世話になりました。

２０１５年東京医科歯科大学歯学部卒業後、カリフォルニア大学ロサンゼルス校（UCLA）で最先端の口腔顔面痛学と睡眠歯科医学分野を学びました。睡眠歯科とは歯科医師が睡眠時無呼吸の患者さんをマウスピースや歯科的治療によって治療するものです。その後、米国口腔顔面痛学会専門医、米国睡眠歯科医学会専門医を取得し日本に帰国しました。この２つの専門医を同時取得している歯科医師は、日本では私１人になります。現在は、歯科医師４代目として、実際の歯科診療の加え、学会等での講演、セミナー、書籍などの執筆活動を行っています。また、渋谷区代々木上原で、新しい歯科を目指したクリニックに勤務しています。このクリニックは、これからの歯科医療を体現しようと思い、これからの医療は、医科と歯科、過去と未来の垣根のないシームレスな医療であるべきというコンセプトをもとにしています。

川村学園時代の経験は、私の今の生き方に大きな影響を与えました。例えば、先日行われた日本人宇宙飛行士選抜で書類審査に合格しました。宇宙飛行士に応募したきっかけの一つは、川村幼稚園の卒業アルバムに、「宇宙で治療する歯医者になりたい」と書いていたこと。また、小学校６年生時に、小学校の廊下に応募ポスターが掲示されていた、東芝主催のアイデアコンテストでグランプリを受賞したことです。このコンテストでは、歩いているだけで電気が作れる「歩く発電ロード」というアイディアを提出しました。受賞時の読売新聞の取材でも、「将来は宇宙で治療する歯医者になりたいです」と答えており、その夢に一歩近づいたことがとても嬉しいです。学生時代に多くの先生方に背中を押していただいたことが、今の私を作り上げているのだということを日々実感しています。

川村学園で12年間過ごし、今でも継続していくよう心がけているのが、感謝、礼節を大切にする川村学園の精神です。それは海外に留学した時も大変役に立ちました。素晴らしい先生方と仲間との出会い。川村時代の友人とは今でも会って話をするよい仲間です。

このような素晴らしい教育をしてくださった川村学園に大変感謝しております。また何かの形で後輩たちに貢献できればと思います。本当に有り難うございます。

あこがれの観光大使になって

永野　初音（高校89期、観光文化学科２０２２年卒）

今年度より念願の東京都豊島区第８代ソメイヨシノ桜の観光大使を務めております。

私は中学から大学まで、川村学園に在籍しました。観光文化学科卒業という強みをどのように生かすか考え、豊島区と川村学園に貢献できる観光大使になりたいと思いました。そこで、懸命に任務を果たすことが一番の恩返しになるだろうと考え、今年度、エントリーをしました。そして、２０２３年２月より「東京都豊島区第８代ソメイヨシノ桜の観光大使」に任命された次第です。大学在学中にもエントリーをしましたが、残念ながら最終審査で落選してしまいました。その悔しさから自身の何が原因で落選してしまったかを追及し、３年後に再度トライし、現在へ至っております。

観光大使の任務内容は、区内外のイベントに参加し、幅広く豊島区の観光ＰＲを行なうことです。駒込から生まれた日本を代表する桜、「ソメイヨシノ」を全国、そして世界各地へとアピールしていくことが目的です。

初仕事は、豊島区役所にスタジオがある「としまテレビ」の生放送に出演しました。

また、２０２３年３月２日から４日に開催されたＭＯＮＯづくりメッセで、セレモニーのお手伝いと各ブースの訪問をしました。会場には、母校の川村学園女子大学のブースが出展されており、後輩の学生さんにご挨拶をすることが出来、とても嬉しかったです。

今後は、駒込染井さくら祭やハワイ州観光局の後援で、現地より特別ゲストやフラの人気講師が登場し、全国から多数の方が参加する真夏の一大祭典「東京フラフェスタ in 池袋」など、豊島区主催のイベントに参加する予定です。このような機会を通して、豊島区の魅力をたくさん発信してしていきます。

是非、その時々の季節のイベントへ足を運んでください。また、声をかけていただけましたらとても嬉しく思います。どこかの豊島区のイベントでお会いしましょう。

東京都教員採用試験に合格して

川村　菜奈子（高校90期、生活文化学科２０２３年卒）

私は生活創造学部生活文化学科で栄養士免許に合わせて、家庭科の中学校と高等学校の教員免許を取得しました。取り始めた大学１年生の時は教員になりたいという気持ちは正直ありませんでしたが、教職課程を学ぶ中で現代の子どもたちを含めた社会課題について関心が高まり、自分が家庭科教育をすることで誰かの助けになることができるのではと思い教員採用試験を受験することを決めました。

家庭科は、食と衣服分野のことばかりイメージに出てきがちですが、消費者問題や家族関係など内容は多岐にわたっています。私の卒業論文では、高校の家庭科教科書での「共生分野」の取り扱いについて研究しました。現在、学校現場では外国籍の子どもが増えていたり、障がいのあるなしに関わらず同じ教室で学ぶインクルージョン教育が進んでいますが、それが進められる中で子どもたちに共生について学び考える機会をつくる家庭科は非常に重要な科目であると考えます。なぜ家族の形が多様化してるのかや、自分自身の家族や将来の自分の家族について考えるきっかけになる科目です。教壇に立った時、何よりもいろんな家族がいていいのだと受容する気持ちを育む授業をしたいと考えています。

同窓生のお店を訪ねて。

＜挿絵＞　川村学園女子大学
名誉教授　荻原 延元先生

昭和三十七年、先代店主が西荻窪の閑静な住宅街にうなぎ屋を開業、息子である主人は日本料理の修業をしたのち、二代目として後を継ぎ、昨年、六十周年を迎えました。

甘さ控えめの江戸前のうな重はもちろん、繊細で丁寧な日本料理の技が映える小鉢やつまみも好評で、お得なお昼の定食にも人気があります。縁あって主人と出会い、見知らぬ土地で調理に関わる仕事をするとは夢にも思っていませんでしたが、人が好きで接客には自信がありましたので、迷わず家業を手伝うことにいたしました。

「また来ます！」その一言がとてもうれしく、店を続けられること、元気に働けること、お客様に家族、すべての方に感謝し、これからも主人と共に精進してまいります。

佐々木　美幸（下島）　高校58期

【大和田】
東京都杉並区西荻北５－21－17
電話　03-3390-3890
営業時間　11:30～14:00（LO 13:15）
17:00～20:00（LO 19:15）
定休日　火曜日　水曜日(不定休)
祝日は営業

twitter
QR コード

支部会だより

近畿支部会開催

安居 麻貴子（岩井）62期

令和４年10月29日京都ホテルグランヴィアにて近畿支部会を開催しました。懐かしいお顔から初めての方まで17名がそろい、和やかなひと時を過ごすことができ、皆様のご厚意に感謝申し上げます。このご縁を大切に次に繋げてまいりたいと存じます。

2023年３月末に退職された先生からの一言

大学付属保育園

定年を迎え～これからも

西堀 佐紀子（明智）

この春、付属保育園を定年退職しました。川村文子先生の教えにある「感謝の心」「女性の自覚」「社会への奉仕」の精神の下、夢や希望を原動力として45年間川村学園で勤めてまいりました。学生時代から通算すると還暦の年数（60年）を川村学園で過ごし、古株ではなく古漬けになっている私がいました。振り返るとその人生の大方を幸せだったと噛みしめ、中でも人と人との繋がりを大切に感じ、不安や困難なことに向き合い、それを一生懸命に乗り越えて諦めず最後まで頑張ろうと言う姿勢は、川村学園での学びそのものだったと自負しています。

川村学園での勤務は短大の保育科を卒業してそのまま学園での勤務になり、幼稚園から本部・短期大学・小倉台幼稚園・大学・附属保育園といろいろな所属を経験させていただきました。そしてその繋がりや絆が私を大きく支えてくれて、子どもたちから、保護者から、そして職場の諸先生方からの繋がりは宝物で、大切な財産になってくれました。

また、附属保育園では子どもたち（5歳児）に15年間茶道を課外活動としてお教え出来たのも、私の人生の楽しみになりました。月一度のお稽古も、大学の和室で出来ない正座も、ほろ苦いお抹茶もはじめはしかめっつらをしながら飲んでいましたが、最後には「先生おいしいね。」と。「礼にはじまり礼に終わる」の言葉の通り、畳の歩き方や床の間での挨拶など、静かな日本の文化に触れることを知るきっかけになっていました。食育も兼ねて、子どもたちが将来日本人として海外の人とのコミュニケーションの中で、日本の文化を紹介するきっかけになればと退職後も引き続き附属保育園でこの活動は続けています。

卒業生として、学園で培った「感謝の心」で自己を大切にし、他人への思いやりと優しさをこれからも様々な境遇や場面においても見つめていく姿勢を持ち続けて、いただいた同窓会のお仕事も微力ではありますがお役にたちたいと、まだまだ川村学園の発展に努めてまいります。

生活文化学科

摩訶不思議な縁に感謝を込めて

今井 久美子

久しぶりに上野公園を散歩した。ゆりかもめは蓮見デッキでひなたぼっこ？不忍池の枯れた蓮は刈られ、お花見の準備が始まった。定年退職か～、「去り行く」寂しい現実とともに、大学卒業後、管理栄養士、大学の研究室で実験や栄養調査などの経験全てが、貴重な時間であったと振り返り、川村学園との摩訶不思議な縁という言葉が脳裏に浮かんだ。

中学受験を控えた娘が、突然「川村中学に行きたい」と言い出した。理由を訊ねれば、川村高校に通う知り合いのお姉さんと友だちの友人関係に触れ、川村中学に行けば、私もこんな友だちに出会えると感じたらしい。お陰様で娘は、川村中学ですばらしい友人達に出会えた。

娘が川村中学に入学後、私が、川村学園女子大学の教員になるという夢のようなチャンスがやってきた。なんと魔訶不思議な出会いなのだろうか。14年間、教育者として、研究者として、社会人として多くの方々に恵まれ、新しい世界も導いていただいた。特に「紫雲の会」で，川村学園の前身である川村女学院の会食、食育に興味を持った。川村学園が所蔵する「鶴友」「とこしえ」などから、川村女学院は創立当時、栄養学の父と呼ばれる佐伯矩先生の講演会が催され、佐伯先生が設立した栄養研究所の医師や栄養学校の卒業生が教員として栄養学、割烹教育、会食に携わり、当時最先端の栄養学が実践されていた事を知った。

９年前、余命１ヶ月の宣告を受けた母は、ストマ（人工肛門）を付け約６ヶ月の命をいただいた。闘病生活は「食べることは最後の治療よ、食事は生きる喜び、食べることは命の証よ」と、母から教わった時間であった。私が、栄養学に導かれた真の理由を知る母らしい最期の贈り物をもらった。巡り廻り、大学の目白校舎付近で偶然見つけた「ギタルラ社」に出会い、40年間思い続けたチェンバロを弾きたい私の夢も叶った。魔訶不思議な川村学園との縁からいただいた幸せな出会いと喜びに感謝し、この春、新たな一歩を踏みだす。

大学の新しい取り組みシリーズ

生活創造学部　生活文化学科

ＳＤＧｓへの取り組み

教授　髙橋　裕子（49期）

川村学園女子大学生活創造学部生活文化学科はＳＤＧｓの取り組みとして、２０２３年３月２日（木）から４日（土）まで、サンシャインシティ展示ホールＢで行われた「第16回としまＭＯＮＯづくりメッセ」に参加しました。

このイベントは、新型コロナウイルス感染症の影響で３年に渡り開催が中止、４年ぶりの開催でした。85社・団体、１０２ブースが出展しました。

来場者の投票によってグランプリを選出する「ものづくりグランプリ・ＳＤＧｓグランプリ」も開催されました。そこで、私達もＳＤＧｓの17の取り組みのうち、12番目に掲げている「つくる責任・つかう責任」として、学生達が開発した「白樺派のカレー kawamura バージョン」と「川女のおつけもの」でエントリーしました。投票の結果、「ＳＤＧｓ準グランプリ」を受賞することができました。

生活文化学科では、授業の一環として、千葉県我孫子市の農家とコラボして商品開発する「産・官・学連携」や「地域連携」の事業に数年前より取り組んでいます。

今回、受賞したレトルトカレーは、フードロスに着目し、市場に流通しない規格外野菜を使用し、加熱不要の非常食として使える賞味期限の長い商品として開発しました。また、つけものは、保存料不使用ながら常温保存ができる工夫をし、冷蔵保管エネルギーを省くことができる商品として生み出しました。

手伝いをしてくれた学生さんも、周りから「頑張ったね」「すごいね」等声をかけてもらい、照れくさそうでしたがどこか誇らしげでした。

今後も新たな商品開発を頑張りたいと思います。

「としまMONOづくりメッセ」に参加、SDGs準グランプリ受賞しました!

大学のリカレント教育

科目等履修生として　－現役学生さんと共に学ぶ日々－

花房　真衣（寺本）
小学校47期、中学校・高等学校67期

１年半前より国際英語学科（目白キャンパス）に科目等履修生として、英語科教員免許の取得を目指し在籍しています。海外赴任や子育てを経験し、教育や学校のあり方、またコミュニケーションツールとしての英語教育の重要性を切実に感じ、遅ればせながら私も携わりたいと考えるようになりました。そのような時に国際英語学科で英語教員の免許を取得できることを知りました。幼稚園から高等学校まで本学で学び、大学は他大だったので、本学の大学生活も経験できる機会に胸が躍りました。一方、現役の学生さんたちとジェネレーションギャップを飛び越え交流できるかどうか、どちらかというと教職員と思われないだろうか等々の不安を抱きつつ、門戸を叩きました。結果は、なんとも温かくユーモアのある学生さんたちに仲間入り（！）させていただき、日々楽しいキャンパス通いとなっています。先生方の熱心さについていかれるよう現役の学生生活の時よりも真面目に取り組んでいる自分に驚いたりしますが、そのような意識の違いも学び直しの良いところだと感じています。

卒業してから、キャリアアップのため資格などを取りたい卒業生のため、川村学園女子大学では、履修料、設備資金などの優遇措置をしています。本大学卒業生のみでなく、川村高等学校等卒業生にも同様の対応をしています。

- 履修料　１科目につき15,000円（半期修了科目7,500円）
- 設備資金　なし

通常の場合は、以下の通りです。

- 履修料　１科目につき50,000円（半期修了科目25,000円）
- 設備資金　10,000円

詳しくは、大学入試広報室にお問い合わせください。

川村学園女子大学には「シニア社会人学生制度」があり、学費が半額になるなど50歳からの学び直しを応援するものです。
本学卒業生はこの制度が**45歳**から適応となります。詳しくはこちらをご覧ください。
URL　https://www.kgwu.ac.jp/common/nyushi/NYUSHI/senior_system.pdf

川村学園同窓会の facebook ページで学園行事や同窓会活動の様子をご覧いただけます。

川村学園同窓会ホームページ
http://kawamura-aa.jp/yukari/

住所変更フォーム有ります♥

※こちらからも facebook にアクセスできます。

同窓会活動を手助けする「サポーター制度」をはじめます!

同窓会では、学園祭等のイベント時に一時的に役員の活動を補佐する「サポーター」制度を始めます。役員としての活動は無理でも、短期的なお手伝いならばやってみたいという卒業生の皆様を役員の仲間としてお迎えする制度です。詳細は同窓会HPにて。

お知らせ

◆令和５年度学園祭◆

鶴友祭（目白校舎）	11月11日(土) 11月12日(日)
鶴雅祭（我孫子キャンパス）	10月21日(土) 10月22日(日)

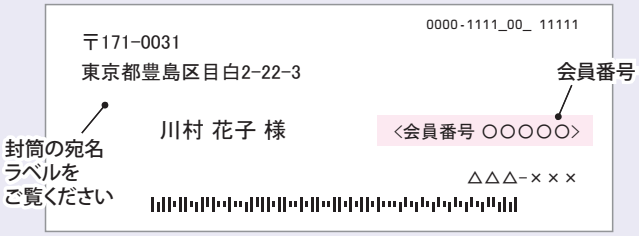
同窓会では鶴友祭にてバザー・作品展で参加いたします。どうぞお出掛け下さい。

同窓会業務日

毎週火曜日・土曜日　午後１時～４時

―会員番号をお忘れなく!―

ゆか里送付宛名ラベルに、皆さまそれぞれの会員番号を記載しています。
素早く円滑にご対応するためにも、住所変更・改姓・その他のご連絡の際には会員番号をお知らせください。



「かかや」主宰【お料理 知恵袋②】

古谷明美さん監修（短大家政科 32 期）

レシピ動画はこちら

しっとり鶏胸肉のプレ・オー・セル（塩鶏）～マーマレード白ワインソース～

「たんぱく質」をしっかり摂りましょう

「鶏胸肉」は、高たんぱく質の代表的な食材です。今回は、しっとりと焼き上げる「プレオーセル」をご紹介します。

【材料（2人分）】

鶏胸肉……2枚
塩……小さじ2（ゲランドの塩※と混ぜて）
にんにく……2片
ローリエ……2枚
オリーブオイル…小さじ1
付け合せ野菜…適宜

＜ソース＞
マーマレード……大さじ4
白ワイン……100cc
バター……20g
しょう油…小さじ2

【作り方】

1. 鶏胸肉は、皮目にフォークを数か所刺す。塩をまんべんなくすり込む。薄切りにしたにんにく、ちぎったローリエを張り付けて、ピッタリとラップで包む。1時間以上置いて、肉を室温にする。
2. フライパンにオリーブオイルを熱し、にんにくとローリエを取り除き、皮を下にして中火で5分焼き、裏返して蓋をして火を弱めて4分焼き、火を止めてそのまま40～50分置き、余熱で火を通す。
3. 鶏肉を取り出して、焼き汁にマーマレードと白ワインを加えて火にかけ、半量に煮詰める。さらにバターを加えて溶かし、仕上げにしょう油を加える。
4. 鶏肉を斜めに薄切りにし、皿に盛り付けてソースをかける。

訃報

令和４年度に逝去されたとご連絡を頂いた方は47名でした。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

編集後記

久しぶりの再会を喜び合ったあの日から季節は巡り、皆さまにまたお会い出来る日が近づいてまいりました。今年もたくさんの方々の笑顔に出会えることを役員一同、楽しみにお待ちしております。心こめてゆか里を刊行いたしました。学園の近況、同窓生の活躍を話題にして頂ければ幸いです。

編集長：熊谷　編集：若林・髙橋・竹下・依田

学園からのお知らせ

川村学園ではホームページのほかに、SNS など様々なツールを使って、学園の旬な情報を素早くお届けしています。下記は、学園が公式に運用している SNS の一覧です。ホームページと合わせてご覧下さい。

なお、2024 年度の川村学園各校の入学試験、学校説明会の日程等はホームページ、もしくは担当部署までお問い合わせください。

大学・大学院　事務部　入試広報：04－7183－0114
幼稚園～高等学校　入試広報室：03－3984－7707

川村学園女子大学大学院 川村学園女子大学	https://www.kgwu.ac.jp/ https://www.facebook.com/kgwu.pr https://page.line.me/kgwu https://twitter.com/kgwupr
川村高等学校・川村中学校 川村小学校・川村幼稚園	http://www.kawamura.ac.jp/
川村学園女子大学附属保育園	http://hoikuen.kikirara.jp/index.html